



こどもの杜だより

日増しに暖くなり、冬眠していたカメも元気にエサを食べ始めました。そして、花粉症の方にとってはつらい季節ですね。

早いもので、今年度も残りあと僅かとなりました。卒園式ももうすぐですね。年長クラスの皆さん、ご卒園おめでとございます！

平成30年度 3月号

社会福祉法人 神奈川民間保育園協会
児童野外活動センター こどもの杜

神奈川民間保育園園児作品展への出展、 またご来場いただきまして誠にありがとうございました！



今年も当協会主催の「神奈川民間保育園園児作品展」を2月13日～18日まで横浜そごうにて開催いたしました。

子どもたちの創造力の豊かさと、保育士の先生方の日々の指導力の結晶ともいえる素晴らしい作品が今年も多数展示されました。

そして今年は来場者数3,291人と、昨年を上回る多くのお客様にご来場いただきました。

協会員の皆様には作品の出展にご協力いただきまして誠にありがとうございました。また、ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました！

2019年度宿泊利用をお申し込みの皆様へ

来年度宿泊利用をお申し込みされた皆様には、すでに必要書類をお送りしましたが、その中の「給食に関する変更点についてお知らせ」に記載しました、朝食のロールパンについて変更がありますのでお知らせいたします。
ロールパンは今年度のもと同じものを使用することになったため、今年度と原材料の変更はございません。
それに伴い、「こどもの杜の献立表 原材料一覧」内、ロールパンの原材料は今年度のもに変わりますのでご注意ください。新しい献立表を、今月号のこどもの杜だよりと一緒に送りましたのでご確認の上、お手数ですが差し換えをお願いいたします。
皆様にはご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。

「創立記念杜まつり」のお知らせ

4月28日(日)10:00～14:00 雨天開催

例年、創立記念日の5月5日に開催している杜まつりですが、今年度は10連休のため上記日程での開催となります。

皆様のお越しを心よりお待ちしております！

《2月の団体利用者数報告》

☆日帰り：21団体 722名

☆宿泊：6団体 213名

ご利用、ありがとうございました！



《お問合せ》社会福祉法人 神奈川民間保育園協会 児童野外活動センター こどもの杜
〒227-0047 横浜市青葉区みたけ台 26-17 TEL：045-972-7700 FAX：045-972-7701



HP：http://www.minpokyo.or.jp/kodomonomori ☆お気軽にお問合せください☆

花粉症のつらい症状を軽減させるには…腸から?!

👉 ポイントは、腸にあり!

- * アレルギーと関係の深い免疫機能は、人間の「腸」に集中しています。
- * 花粉症を軽減させるには、腸内環境を良い状態に保つことが大切です。
- * 花粉症に良い食材(発酵食品・根菜類等)がある一方で、控えるべき食材もあります。



👉 花粉症には良くない食べ物…

×揚げ物・ステーキなどの高脂肪食

食べ過ぎて消化しきれなかった脂肪分は、腸内の悪玉菌のエサとなり、腸内細菌のバランスを崩してしまいます。

×ハムやソーセージ・スナック菓子などの加工食品

加工食品に多く含まれる、食品添加物(着色料・防腐剤・安定剤など)は、腸内細菌のバランスを崩してしまいます。

×お酒などのアルコール

アルコールを肝臓で分解する時に発生するアセトアルデヒドが、顔のかゆみや赤みを悪化させてしまいます。アレルギー症状がある時は、飲酒はやめましょう。



これからの季節、お花見やピクニックでこれらを食べる機会も増えると思います。発酵食品や根菜類も加えて、「腸活」しながら楽しみましょう!

☆動物たちとのふれあい☆

楽しく安全にふれあうためには…

動物を見て歓声をあげる子どもたちの姿は微笑ましいものです。しかし喜ぶ子どもたちの仕草の多くが、実は動物を怖がらせてしまっています。ほんの少しの心がけで、動物とのふれあいは、より素晴らしいものになります。

動物との正しいふれあい方を、まずは私たち大人が理解し、子どもたちに伝えていきましょう。

《動物がこわがる行為》

- ・大きな声 ・走り回る ・手を振る ・拍手する
- ・オリや柵を叩く ・体を乗り出す ・柵に登る

《動物がよろこぶ行為》

- ・やさしい声で名前を呼ばれる ・静かに見てくれる
- ・やさしく背中をなでてくれる ・気が向くまで待ってくれる

柵の向こう側は動物たちの縄張り。そこへ人間が近付く時には注意すべき事柄も増えます。

子どもたちに楽しい思い出が残るよう、付き添う大人の心配りが必要となります。

飼育員が安全で楽しい動物とのふれあいのお手伝いをいたしますので、お気軽にお声掛け下さい!



冬眠から目覚めた



寒い間じっとしていた池の生き物たち。アイガモがポツンと寂しく佇む姿も見られましたが、日に日に暖かくなり、魚たちも次第に元気に泳ぐようになりました。

春が来れば子どもたちにも大人気の金魚釣りが楽しめるようになります。

左の「ふれあい」の記事にも通じるのですが、金魚釣りは生きている魚にふれる事が出来る貴重な機会です。優しく魚にふれて、その感触とともに、大切に扱うことの大事さを覚えます。

生き物とのふれあいを通じて、「相手を思いやる気持ち」を育てて欲しいものです。 (動物飼育員：前原)

